

各位

株式会社北洋銀行

「TSUBASA FinTech共通基盤」によるAPIの提供および フィンテックサービスとの連携を開始します

北洋銀行は、2018年4月23日より、「TSUBASA FinTech共通基盤」によるAPI^{※1}の提供およびフィンテックサービスとの連携を開始します。

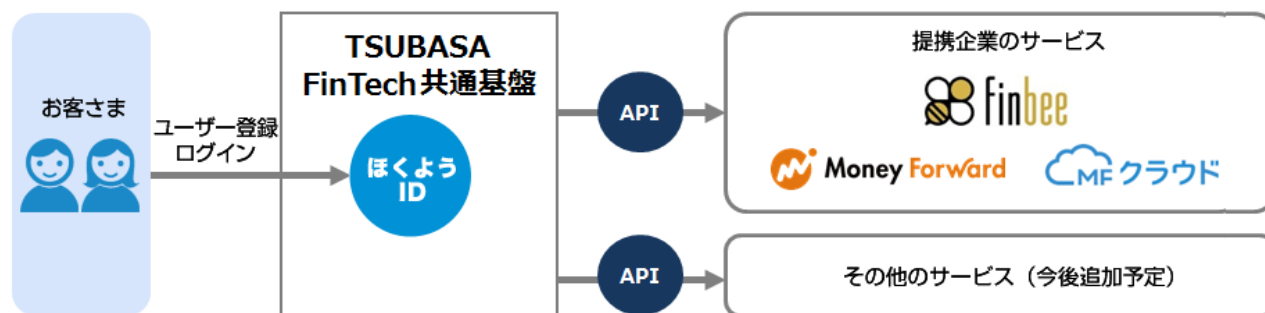
「TSUBASA FinTech共通基盤」は、「TSUBASAアライアンス」^{※2}参加行およびT&Iノベーションセンター株式会社と共同で構築したもので、フィンテック企業等の外部事業者の皆さまが同一の仕様で接続できるオープンAPIのプラットフォームになっています。

この共通基盤を通じ、お客さまに利用いただけるフィンテックサービスの第一弾は、株式会社ネストエッグの自動貯金アプリ「finbee (フィンビー)」^{※3}、株式会社マネーフォワードの資産管理サービス「マネーフォワード」・ビジネス向けクラウドサービス「MFクラウドシリーズ」^{※4}です。なお、自動貯金アプリ「finbee (フィンビー)」とのAPI接続は地方銀行初となります。

さらに、当行が提供しているアプリ「ほくくーNAVI」の新機能(口座残高表示)、株式会社マネーフォワードが当行向けにカスタマイズした「マネーフォワード for 北洋銀行」、「MFクラウド確定申告 for 北洋銀行」^{※4}との連携も同時に開始します。

これらのフィンテックサービスとの連携にあたっては、事前にご登録いただく「ほくようID」^{※5}によりお客さまの認証を行います。これにより、インターネットバンキング契約のないお客さまでも、口座情報を各種サービスと安全かつシームレスに連携することができるため、今後はより多くのお客さまにさまざまなフィンテックサービスをご利用いただけるようになります。

＜TSUBASA FinTech共通基盤を通じたフィンテックサービスご利用のイメージ＞



※1 APIとは、Application Programming Interface の略。お客さまの同意に基づいて銀行等のシステムに外部から接続して安全に情報を取得できるようにする仕組みで、その仕様等をフィンテック企業等の外部事業者に公開することを「オープンAPI」といいます。

※2 千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北越銀行および北洋銀行の7行が参加する地銀広域連携の枠組みです。

※3 「finbee (フィンビー)」は株式会社ネストエッグが提供するサービスです。

※4 「マネーフォワード」・「MFクラウドシリーズ」(当行向けにカスタマイズしたサービスを含みます)は株式会社マネーフォワードが提供するサービスです。

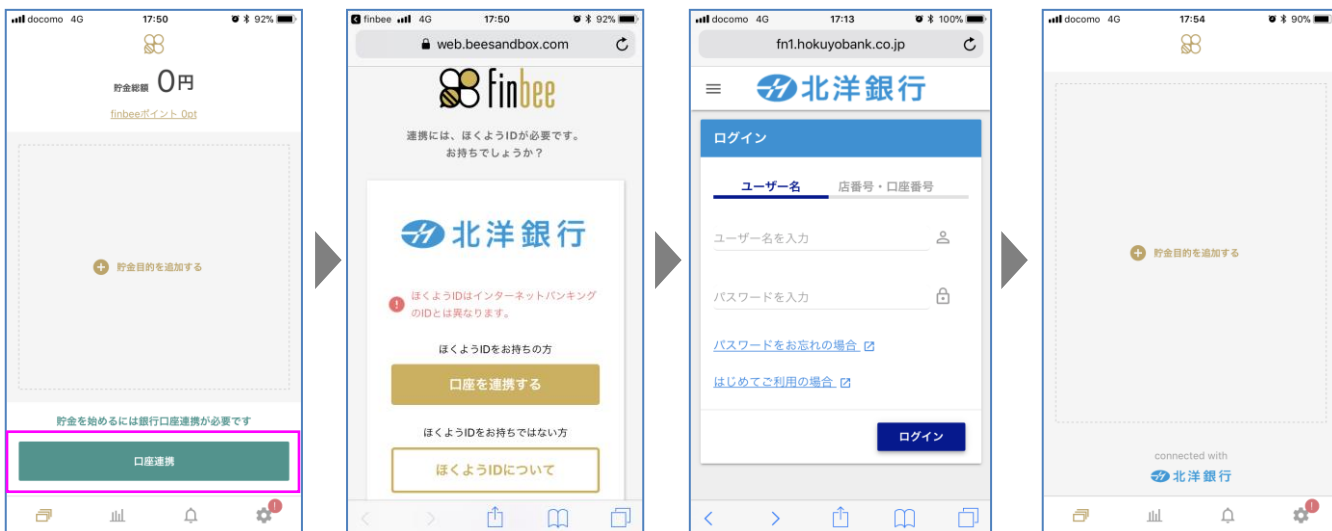
※5 インターネットで提供されるサービスを、共通のIDでご利用いただくための仕組みです。

以上

自動貯金アプリ「finbee」

finbee（フィンビー）は、おつりや歩数などのルールに連動して楽しみながら貯蓄ができるアプリです。お客さまがアプリ上で目標とルールを設定すると、API 接続により当行にお客さまの finbee 専用口座（目的別預金）をオンラインで開設し、普通預金口座から自動で振替えることができます。

ご利用イメージ



finbee のアプリの口座連携画面で
北洋銀行を選びます

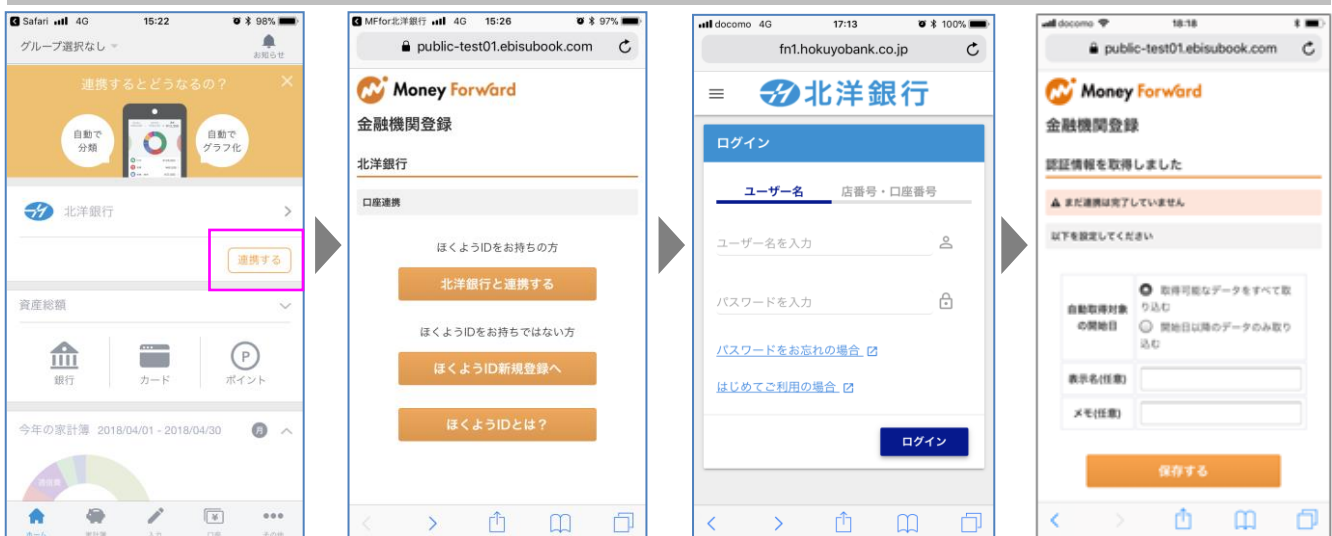
ほくよう ID でログインし
口座情報連携に同意します

連携完了です
目的などを設定します

資産管理サービス「マネーフォワード for 北洋銀行」

マネーフォワードは、銀行口座やクレジットカードを登録すると、家計簿の自動作成や複数口座をまとめた資産管理ができるサービスです。API 接続することにより、当行口座情報を安全かつスムーズにマネーフォワードへ連携することができます。

ご利用イメージ



マネーフォワードのアプリの画面上で
銀行との連携画面に進み、北洋銀行を選びます

ほくよう ID でログインし
口座情報連携に同意します

保存すると連携完了です